

1 日 時 令和7年1月29日(水) 13:00～16:00

2 場 所 校長室

3 あいさつ

4 協議内容

(1) 授業参観から子どもの様子の交流

- ・各学年落ち着いていた。
 - ・自分がどう感じたか、どうあるべきか、こうありたいという思いをもって実践する姿が今、会社で求められている。そういう授業になっていた。
 - ・落ち着いて学習していた。自分の思いを語る授業であった。
 - ・タブレットの使用。一斉授業でなく、子どもたちが友だちと学習を進めている。
 - ・子どもたちの成長を感じられる。
 - ・先生の声も、黒板の文字も、画像の字も小さいのではないかと。
- 学習形態が変わってきている。複線型授業を進めている。声の大きさは過敏な子への配慮で、はっきり、わかりやすくを意識させている。

(2) 学校関係者評価(別紙)

- ・SNS上でのいじめについて
- ・スマホ・タブレットによる健康被害

(3) 児童の引き渡し、朝の送迎について

- ・南門の拡張工事案について

→門は教育委員会の管理であるが、学校は防災拠点でもあるので市防災危機管理課にも対応をしてほしい。

(4) 地域コーディネーターより

- ・来年度のボランティア募集のチラシの作成・配付、公民館への配架。(3月中旬)
- ・地域も組織的に取り組んでいきたいので、学校もそうしていただきたい。

(5) その他

- ・来年度の授業参観の回数について保護者アンケートを取ってはどうか。
- 学校での様子をできるだけ見ていただき、子どもの状況を共有した上で、保護者とさらに連携していきたい。
- ・公民館で作成した地域学習の資料を6年生用にマス刷りしてよいか。

5 教育支援課コーディネーターより

- ・授業参観を見て、子どもたちの成長の様子が感じられた。どこの学年が何をどこでやっているのか分かるように一覧を作成していただくとよい。
- ・授業参観は保護者がいっぱい、子どもも普段とは少し違う。学校運営協議会委員の参観を違う日に設定すると学校評価にもつながるのではないかと。
- ・スマホ等についてよい話し合いができた。PTA・学校がお互いできることをしていくとよい。子どもに持たせる時は時間等のルールが必要である。